

あなたは幸せですか。
これからも幸せでありたいですか。

誰もが幸せを願い、自分らしく生きることを望んでいます。それなのに、世の中には差別や偏見によって幸せを奪われている人がいます。

今もなお、私たちの周りには、同和問題をはじめとする、さまざまな人権問題が存在しています。私たちは、それが他人のことであれば、つい見逃しがちになってしまいます。また、自分には関係ないと思ってしまうかもしれません。

しかし、これらの問題は、そっとしておけば自然に解決するものではありません。むしろ、私たちが気づかないところで、その形を変えたり、新たな人権侵害として生み出されたりしながら、今も多くの人々を苦しめています。

私たちは、このような問題に対して、どのように向き合えばよいのでしょうか。

8月は同和問題啓発強調月間です。この機会に、あなた自身を見つめ直してみませんか。

あなたは幸せですか…。
あなたの周りの人はどうですか…。



人権特集

8月は同和問題啓発強調月間です

●問合先 生涯学習課人権・同和教育係 (☎33186)

お気軽にご参加ください

同和問題啓発強調月間中の催し

2014 同和問題講演会

人権・同和問題について理解し、考えるきっかけとして、伊万里市では『同和問題講演会』を開催します。この機会に、ぜひ皆さんも参加してみませんか。

- **日時** 8月27日(水)
午後1時30分～3時
- **場所** 伊万里市民センター 文化ホール
- **入場料** 無料 ※どなたでも入場できます。

- **演題** 『報道と人権』

- **講師** すぎお ひてや
杉尾 秀哉 さん
(TBS テレビ報道局解説・専門記者室長)
《プロフィール》



東京大学文学部社会学科卒業後、株式会社東京放送入社。その後、約30年にわたりニュースの現場で活躍。『ニュースの森』キャスターなどを経て、JNNワシントン支局長、報道局社会部長などを歴任。『みのもんたの朝ズバッ!』、『Nスタ』など多くの人気番組にも出演。

現在は、TBSテレビ報道局解説・専門記者室長として、『週間BS-TBS報道部』キャスターのほか、選挙特番や報道特番などにも出演するなど活躍中。

※手話通訳があります。

佐賀県人権・同和教育研究大会(全体会)

- **大会テーマ**
人権教育・啓発・まちづくりをすすめていくために、学校・家庭・地域の連携のあり方を明らかにしよう!
～『個』と『個』が束ね合わさった『協働』の取り組みをめざして～
- **日時**
8月8日(金) 午後2時～4時30分
- **場所**
佐賀市文化会館 大ホール

- **内容**
①開会行事
②講演
▷演題 『差別意識のカラクリ』
▷講師 近畿大学人権問題研究所教授
おくだ ひとし
奥田 均さん
- **参加料** 800円(資料代含む)
- **問合せ先**
佐賀県人権・同和教育研究協議会事務局
(☎0952-6434)

さまざまな人権問題を考える

～まずは、正しく理解することから始めましょう～

同和問題

● 同和問題とは

私たちは、生まれる場所や親を選ぶことはできません。しかし、本人や父母、祖父母などが同和地区に住んでいる、または過去に同和地区に住んでいたなどの理由で、結婚や就職、日常生活で不当な扱いを受けたり、人権侵害を受けている人がいます。このような日本固有の重大な社会問題を『同和問題』といいます。

● 見なされることを避けようとする差別

『差別をしているつもりはない。ただ自分が同和地区出身であるとか、関係があるように他人から勘違いされたくない』と思っている人がいるかもしれません。見なされる可能性を避けたいという気持ちはどこから来ているのでしょうか。そこに差別意識が見え隠れし

ていませんか。言葉の奥にある心に気づきましょう。

● 同和問題の解決のために

差別する人がいなければ、差別は起こりません。つまり、『差別』とは、差別をする人の問題なのです。一人一人が自分の問題としてとらえることが大切です。



次の4つのことに取り組んでみましょう。

- ① 日常での思い込みや偏見をなくす
- ② 迷信や世間体にとらわれず、自分自身で判断する
- ③ 同和問題について正しく理解し、認識する
- ④ 次の世代の子どもたちに人権を尊重する心を伝える

子どもの人権問題

● 成長に悪影響を及ぼす人権侵害

体罰やいじめ、児童ポルノなど、『子どもの人権』をめぐる問題は深刻化していて、特に子どもの命を脅かすような虐待（親や保護者などが、子どもの体や心を傷つける行為）が後を絶ちません。



子どもにも、一人の人間としての権利が保障されています。周囲の大人が、子どもの権利を尊重してかかわることが大切です。

● 子育てを地域で応援してください

子どもへの虐待が増加している背景には、地域の間関係の希薄化によって、親が周囲から孤立し、育児の負担が大きくなっていることが考えられます。ただ親を責めるだけでは何の解決にもつながりません。虐待を未然に防ぐためには、地域全体で応援していくことが重要です。育児に悩む親の相談相手になったり、日ごろから声をかけたりするなど、手を差し伸べてあげてください。子どもの健やかな成長は、すべての人の願いでもあります。

高齢者の人権問題

● 高齢者を取り巻く問題

平均寿命の伸びや少子化を背景に、高齢化が急速に進行しています。本来、長寿であることはすばらしいことです。しかし、現実には、多くの高齢者が年齢を理由に社会参加の機会を奪われています。また、社会環境や家族関係が大きく変容する中で、高齢者への虐待や地域からの孤立といった問題も生じています。

● 地域でのつながりを深めよう

より豊かな地域社会を実現するためには、知識や経験が豊富な高齢者の存在が欠かせません。高齢者が住み慣

れた地域で主体的に生活しながら、若い世代と一緒にさまざまな活動に参加できる環境をつくるのが重要です。



高齢者が社会の一員としていきいきと暮らすことができるよう、私たち一人一人が高齢者の人権について考えてみましょう。

- ▶ 地域の人は … 気軽に高齢者とふれあいましょう（あいさつ、声かけなど）
- ▶ 高齢者自身は … 生きがいを見つけましょう（趣味、スポーツ、健康づくりなど）

障害者の人権問題

● 障害は身近なもの

障害は、誰にでも生じうるものです。外見ではわからない障害もあることや、同じ障害でも一律ではないことなどを認識する必要があります。障害者は、障害ゆえに不自由ですが、不幸ではありません。人間としての尊厳は同じです。



● まちも心もバリアフリーに

バリアフリーとは、障害者が生活していく中で妨げとなるバリア（障壁）をなくすことです。どのようにして取り除いていくかが大きな課題となっています。

①『物理的』なバリア

道路の段差、建物内のエレベーターやエスカレーターの不備など

②『制度的』なバリア

資格取得や就業にかかわるもの

③『文化・情報面』のバリア

視覚や聴覚などの障害者による通信連絡など

④『心』のバリア

障害に対する無理解から生じる差別や偏見など

▶私たちにできること… 障害のある、なしにかかわらず、お互いを尊重し、支えあって暮らす『共生社会』の実現のために、『まち』から、そして私たちの『心』からバリアをなくすよう努めていきたいものです。

あなたも、私たちと一緒に学びませんか

伊万里市人権・同和教育推進協議会では、市民の皆さんと一緒に『人権・同和问题とは何か』、『どうすれば問題が解決できるのか』を考えるため、各種講座や研修会などを開催しています。あなたもぜひ参加してください。また、研修会の開催を希望する団体の皆さんは、気軽に申し込んでください。

地区講座

■ 地区巡回講座〔各行政区で3～4年に1回〕

草の根的な啓発活動を通じ、人権・同和问题に対する理解と問題の解決をめざして、地域の皆さんを対象として実施しています。

各種研修

■ 各種団体研修（民生・児童委員会、老人クラブ、婦人会、PTAなど）〔随時〕

日ごろから地域の皆さんと接する機会が多い民生委員・児童委員のほか、老人クラブ会員、婦人会会員、小・中学生や幼稚園・保育園児の保護者などを対象として実施しています。

■ 企業・職場研修〔随時〕

市内事業所において、公正採用選考・人権啓発を図るために推進員を対象として実施するほか、職場内で人権意識を高めるために従業員を対象として実施しています。

● 問合せ 伊万里市人権・同和教育推進協議会事務局（生涯学習課内）（☎23186）



伊万里市人権・同和教育推進協議会
会長 坂本 康幸

伊万里市人権・同和教育推進協議会では、同和问题をはじめとする、あらゆる人権問題の解決に向け、人権教育や啓発活動を行っています。

人は、生まれながらに自由、平等であり、誰もが幸福に生きる権利を持っています。しかし、現実には、さまざまな偏見や差別があり、残念ながら、今も多くの人々が傷つき苦しんでいます。

人権を尊重するということは、自分と同じように周りの人のことも考え、尊重することです。『自分には関係ない』などと差別や人権侵害を見過ごしては、問題は解決しません。自らの課題としてとらえ直し、私たち一人一人が何をすべきかを考え、行動に移していくことが大切です。人権をお互いに尊重し、誰もが平等で、明るく暮らすことができる『幸せ』な社会を築いていきましょう。

お互いが尊重し合う
社会の実現に向けて